

チャンネル電流(パッチクランプ)のシミュレータ

グラフサイズの設定 (ピクセル単位)

①膜電位軸のサイズ ②電流軸のサイズ ③時間軸のサイズ



1. デバイスにより画面サイズが異なるため、適切なサイズのグラフとなるように、グラフサイズの設定を行う。

①膜電位軸のサイズ入力 (上のグラフの縦のサイズ)

②電流軸のサイズ入力 (下のグラフの縦のサイズ)

③時間軸のサイズ入力 (上と下のグラフの横のサイズ)

2. 温度を設定する (⑮)。

3. 最大シミュレーション時間を選択する (④)。

4. 電位依存性K⁺チャンネルか電位依存性Na⁺チャンネルかを選択する (⑤)。

5. ノイズを付加する場合にはチェックを入れ、付加しない場合にはチェックを外す (⑥)。

6. ⑦ 1ch (13トレースが表示される) かチャンネル数指定かを選択する。チャンネル数選択の場合にはチャンネル数 (⑧) を入力する (1も可)。

7. グリッドを表示するか場合にはチェックを入れ、表示させない場合にはチェックを外す (⑨)。

8. 電流軸1目盛の大きさをを選択する (⑩)。

9. コマンド電位を設定する (⑪)。(静止電位より始まり時間0でコマンド電位に固定される)

10. シミュレーション実行ボタンをクリックする (⑫)。

11. 時間経過に伴う電位 (⑬)とチャンネル電流 (⑭)が表示される。

12. 必要に応じて、電流軸1目盛の大きさ (⑩)を調節する。

13. チャンネル電流をテキストで表示する場合にはtextにチェックを入れ (⑯) 実行する。表示されたテキストはコピーアンドペーストで表集計ソフトなどに貼りつけてグラフ化なども可能となる。